★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約５年間（2015年１月26日～2020年１月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	α50コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	α50コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	α100コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース

運用報告書（全体版）

第６期（決算日　2015年８月17日）
第７期（決算日　2015年９月17日）
第８期（決算日　2015年10月19日）
第９期（決算日　2015年11月17日）
第10期（決算日　2015年12月17日）
第11期（決算日　2016年１月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α50コース／α100コース」は、このたび、第11期の決算を行ないました。

ここに、第６期～第11期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
ＴＥＬ　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
http://www.daiwa-am.co.jp/

<3254>
<3255>

★α50コース

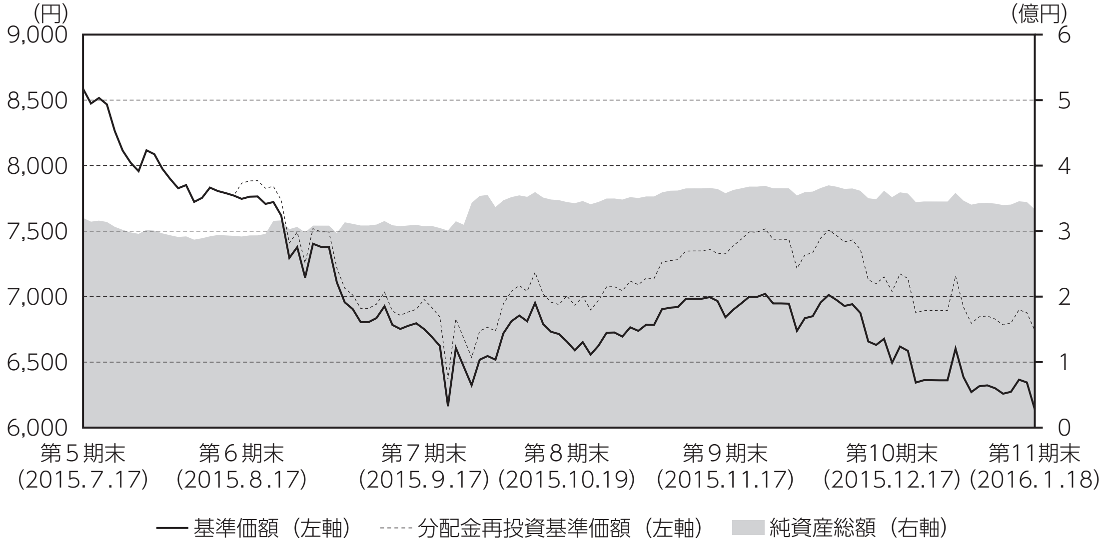
設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配金	期中騰落率	JPモルガン GBI－EM ブロード・ブラジル（円換算）(参考指数)	期中騰落率	公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
1期末（2015年3月17日）	8,308	120	△15.7	8,014	△19.9	0.0	98.0	287
2期末（2015年4月17日）	8,640	120	5.4	8,716	8.8	1.2	99.5	290
3期末（2015年5月18日）	8,727	120	2.4	8,898	2.1	1.0	95.8	326
4期末（2015年6月17日）	8,649	120	0.5	8,907	0.1	0.0	99.3	317
5期末（2015年7月17日）	8,587	120	0.7	8,924	0.2	0.0	98.4	320
6期末（2015年8月17日）	7,746	120	△ 8.4	8,028	△10.0	0.0	99.8	291
7期末（2015年9月17日）	6,752	120	△11.3	6,879	△14.3	0.0	99.1	307
8期末（2015年10月19日）	6,658	120	0.4	6,613	△ 3.9	0.0	99.4	344
9期末（2015年11月17日）	6,843	120	4.6	7,137	7.9	0.0	98.9	357
10期末（2015年12月17日）	6,495	80	△ 3.9	6,946	△ 2.7	0.0	99.5	351
11期末（2016年1月18日）	6,139	80	△ 4.2	6,448	△ 7.2	0.0	99.7	333

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（円換算）は、ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注５）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第６期首：8,587円
第11期末：6,139円（既払分配金640円）
騰 落 率：△21.5％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は下落しました。一方、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。

	年　月　日	基準価額		JPモルガン GBI－EM ブロード・ブラジル（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第６期	（期首）2015年７月17日	8,587	－	8,924	－	0.0	98.4
	７月末	8,087	△ 5.8	8,340	△ 6.5	0.0	99.5
	（期末）2015年８月17日	7,866	△ 8.4	8,028	△10.0	0.0	99.8
第７期	（期首）2015年８月17日	7,746	－	8,028	－	0.0	99.8
	８月末	7,380	△ 4.7	7,590	△ 5.5	0.0	98.4
	（期末）2015年９月17日	6,872	△11.3	6,879	△14.3	0.0	99.1
第８期	（期首）2015年９月17日	6,752	－	6,879	－	0.0	99.1
	９月末	6,324	△ 6.3	6,328	△ 8.0	0.0	87.1
	（期末）2015年10月19日	6,778	0.4	6,613	△ 3.9	0.0	99.4
第９期	（期首）2015年10月19日	6,658	－	6,613	－	0.0	99.4
	10月末	6,739	1.2	6,854	3.6	0.0	99.4
	（期末）2015年11月17日	6,963	4.6	7,137	7.9	0.0	98.9
第10期	（期首）2015年11月17日	6,843	－	7,137	－	0.0	98.9
	11月末	6,946	1.5	7,043	△ 1.3	0.0	98.9
	（期末）2015年12月17日	6,575	△ 3.9	6,946	△ 2.7	0.0	99.5
第11期	（期首）2015年12月17日	6,495	－	6,946	－	0.0	99.5
	12月末	6,603	1.7	6,882	△ 0.9	0.0	99.4
	（期末）2016年１月18日	6,219	△ 4.2	6,448	△ 7.2	0.0	99.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

　ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。当作成期間の前半は、金融政策委員会（Copom）において、電力料金や燃料価格の値上げおよびブラジル・レアル安などによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に政策金利の引き上げが実施されました。この利上げに加え、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題も、金利上昇要因となりました。2015年８月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したこと、緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任したことにより財政懸念が高まり、金利は上昇しました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引き下げたことも、金利上昇要因となりました。

○為替相場

　ブラジル・レアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及したことなどにより、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引き下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国の経済低迷などが、レアルの下落圧力となりました。2015年の初めは政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、８月に、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大しレアルを下支えしました。12月以降は、ＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）により政策金利が引き上げられたほか、中国への景気鈍化懸念の高まりや原油をはじめとした資源価格安により、資源国・新興国通貨であるレアルは下落しました。

○為替ボラティリティ相場

　当期間中は、基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことなどによる財政懸念や、ブラジル経済および主要貿易相手国である中国の経済への懸念の高まりなどインプライド・ボラティリティ（※）が上昇する局面が見られました。当期間を通じて、米ドル高新興国通貨安が進行する中、レアルのインプライド・ボラティリティは、不安定な推移となりました。

　※オプションプレミアムが織り込んでいる通貨の対円為替レートの予想変動率で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

　クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ−ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

　ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成も柔軟に調整しつつ、引き続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。通貨カバードコール戦略は、カバー率を50％程度とすることで、オプションプレミアムの獲得と為替差益の一部の享受をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

　資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

　当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

・債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

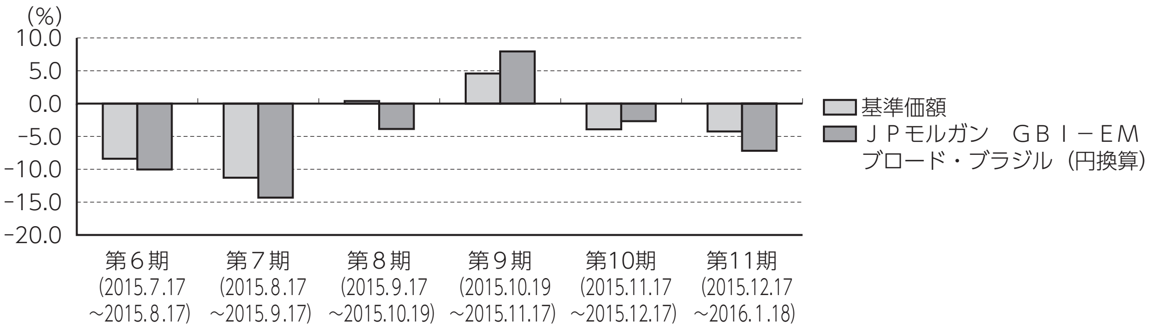
・通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

　資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

１万口当り分配金（税込み）は、第６期～第９期はそれぞれ120円、第10期～第11期はそれぞれ80円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第６期	第７期	第８期	第９期	第10期	第11期
		2015年７月18日～2015年８月17日	2015年８月18日～2015年９月17日	2015年９月18日～2015年10月19日	2015年10月20日～2015年11月17日	2015年11月18日～2015年12月17日	2015年12月18日～2016年１月18日
当期分配金（税込み）	(円)	120	120	120	120	80	80
対基準価額比率	(%)	1.53	1.75	1.77	1.72	1.22	1.29
当期の収益	(円)	120	120	120	120	80	80
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	410	472	556	663	780	952

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　目	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	196.93円	179.31円	204.19円	225.18円	190.63円	252.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	123.62	175.88	230.70	235.53	257.71	260.00
(d) 分配準備積立金	210.35	236.98	241.78	322.40	411.69	520.04
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	530.92	592.18	676.67	783.12	860.03	1,032.47
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	410.92	472.18	556.67	663.12	780.03	952.47

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項目	第6期～第11期 (2015.7.18～2016.1.18) 金額	比率	項目の概要
信託報酬	43円	0.613%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は6,974円です。**
（投信会社）	(15)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.017	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.017)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	44	0.634	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

決算期	第６期～第11期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	3,019.671	186,965	550.846	32,950

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

第６期～第11期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	1,949.146	123,000	63	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	550.846	32,950	59

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況
(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第６期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

決算期	第６期～第11期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	14,938	1,500	10.0	－	－	－
コール・ローン	515,978	－	－	－	－	－

（注）平均保有割合0.0％
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第６期～第11期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 11 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券	千口	千円	%
（ケイマン諸島）			
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	6,322.901	332,192	99.7

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第５期末	第 11 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	50

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年１月18日現在

項 目	第 11 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	332,192	98.3
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	5,741	1.7
投資信託財産総額	337,983	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年８月17日)、(2015年９月17日)、(2015年10月19日)、(2015年11月17日)、(2015年12月17日)、(2016年１月18日)現在

項 目	第 6 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 9 期 末	第 10 期 末	第 11 期 末
（A）資産	**296,661,535円**	**313,274,030円**	**350,950,210円**	**364,536,238円**	**356,515,354円**	**337,983,693円**
コール・ローン等	5,410,878	8,535,106	8,426,521	10,660,777	6,377,710	5,741,094
投資信託受益証券(評価額)	291,200,652	304,688,919	342,473,684	353,825,456	350,087,634	332,192,589
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,005	50,005	50,005	50,005	50,010	50,010
（B）負債	**4,833,438**	**5,785,309**	**6,567,372**	**6,626,254**	**4,706,589**	**4,726,150**
未払収益分配金	4,520,912	5,464,943	6,207,368	6,276,214	4,333,405	4,342,807
未払解約金	905	－	－	－	－	－
未払信託報酬	309,579	316,232	353,531	341,305	362,052	369,760
その他未払費用	2,042	4,134	6,473	8,735	11,132	13,583
（C）純資産総額(A－B)	**291,828,097**	**307,488,721**	**344,382,838**	**357,909,984**	**351,808,765**	**333,257,543**
元本	376,742,725	455,411,960	517,280,673	523,017,871	541,675,628	542,850,952
次期繰越損益金	△ 84,914,628	△147,923,239	△172,897,835	△165,107,887	△189,866,863	△209,593,409
（D）受益権総口数	**376,742,725口**	**455,411,960口**	**517,280,673口**	**523,017,871口**	**541,675,628口**	**542,850,952口**
1万口当り基準価額(C／D)	**7,746円**	**6,752円**	**6,658円**	**6,843円**	**6,495円**	**6,139円**

＊第５期末における元本額は372,832,136円、当作成期間（第６期～第11期）中における追加設定元本額は218,171,338円、同解約元本額は48,152,522円です。
＊第11期末の計算口数当りの純資産額は6,139円です。
＊第11期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は209,593,409円です。

■損益の状況

第６期　自2015年７月18日　至2015年８月17日　　第９期　自2015年10月20日　至2015年11月17日
第７期　自2015年８月18日　至2015年９月17日　　第10期　自2015年11月18日　至2015年12月17日
第８期　自2015年９月18日　至2015年10月19日　　第11期　自2015年12月18日　至2016年１月18日

項目	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期	第11期
(A) 配当等収益	**7,731,146円**	**8,484,721円**	**10,918,410円**	**12,031,631円**	**10,690,426円**	**14,075,107円**
受取配当金	7,731,013	8,484,347	10,918,043	12,031,498	10,690,203	14,074,981
受取利息	133	374	367	133	223	126
(B) 有価証券売買損益	**△34,125,671**	**△ 45,237,450**	**△ 7,053,486**	**4,224,040**	**△ 24,547,919**	**△ 28,675,437**
売買益	53,586	56,609	1,142,219	4,224,040	10,124	1
売買損	△34,179,257	△ 45,294,059	△ 8,195,705	－	△ 24,558,043	△ 28,675,438
(C) 信託報酬等	**△ 311,621**	**△ 318,324**	**△ 355,870**	**△ 343,567**	**△ 364,449**	**△ 372,211**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△26,706,146**	**△ 37,071,053**	**3,509,054**	**15,912,104**	**△ 14,221,942**	**△ 14,972,541**
(E) 前期繰越損益金	**△13,781,486**	**△ 44,880,429**	**△ 81,021,040**	**△ 83,719,354**	**△ 73,874,828**	**△ 92,227,410**
(F) 追加信託差損益金	**△39,906,084**	**△ 60,506,814**	**△ 89,178,481**	**△ 91,024,423**	**△ 97,436,688**	**△ 98,050,651**
(配当等相当額)	(4,657,596)	(8,009,929)	(11,933,735)	(12,319,117)	(13,959,605)	(14,114,331)
(売買損益相当額)	(△44,563,680)	(△ 68,516,743)	(△101,112,216)	(△103,343,540)	(△111,396,293)	(△112,164,982)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△80,393,716**	**△142,458,296**	**△166,690,467**	**△158,831,673**	**△185,533,458**	**△205,250,602**
(H) 収益分配金	**△ 4,520,912**	**△ 5,464,943**	**△ 6,207,368**	**△ 6,276,214**	**△ 4,333,405**	**△ 4,342,807**
次期繰越損益金(G＋H)	**△84,914,628**	**△147,923,239**	**△172,897,835**	**△165,107,887**	**△189,866,863**	**△209,593,409**
追加信託差損益金	△39,906,084	△ 60,506,814	△ 89,178,481	△ 91,024,423	△ 97,436,688	△ 98,050,651
(配当等相当額)	(4,657,596)	(8,009,929)	(11,933,735)	(12,319,117)	(13,959,605)	(14,114,331)
(売買損益相当額)	(△44,563,680)	(△ 68,516,743)	(△101,112,216)	(△103,343,540)	(△111,396,293)	(△112,164,982)
分配準備積立金	10,823,523	13,494,168	16,862,108	22,363,252	28,292,845	37,590,869
繰越損益金	△55,832,067	△100,910,593	△100,581,462	△ 96,446,716	△120,723,020	△149,133,627

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は後掲の「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,419,525円	8,166,397円	10,562,541円	11,777,358円	10,325,978円	13,702,897円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,657,596	8,009,929	11,933,735	12,319,117	13,959,605	14,114,331
(d) 分配準備積立金	7,924,910	10,792,714	12,506,935	16,862,108	22,300,272	28,230,779
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	20,002,031	26,969,040	35,003,211	40,958,583	46,585,855	56,048,007
(f) 分配金	4,520,912	5,464,943	6,207,368	6,276,214	4,333,405	4,342,807
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	15,481,119	21,504,097	28,795,843	34,682,369	42,252,450	51,705,200
(h) 受益権総口数	376,742,725口	455,411,960口	517,280,673口	523,017,871口	541,675,628口	542,850,952口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第　6　期	第　7　期	第　8　期	第　9　期	第　10　期	第　11　期
1万口当り分配金	120円	120円	120円	120円	80円	80円
（単　価）	(7,746円)	(6,752円)	(6,658円)	(6,843円)	(6,495円)	(6,139円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記(　)内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★α100コース

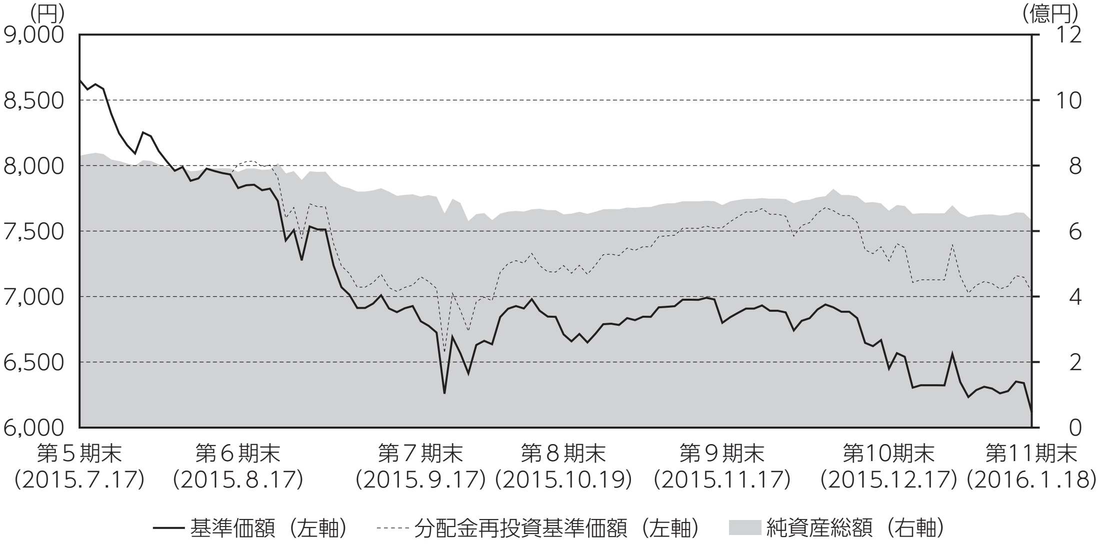
設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配金	期中騰落率	JPモルガン GBI－EM ブロード・ブラジル（円換算）(参考指数)	期中騰落率	公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
1期末（2015年3月17日）	8,486	180	△13.3	8,014	△19.9	0.0	97.9	503
2期末（2015年4月17日）	8,764	180	5.4	8,716	8.8	1.6	95.2	564
3期末（2015年5月18日）	8,802	180	2.5	8,898	2.1	1.4	99.8	685
4期末（2015年6月17日）	8,748	180	1.4	8,907	0.1	0.0	98.8	760
5期末（2015年7月17日）	8,652	180	1.0	8,924	0.2	0.0	98.1	830
6期末（2015年8月17日）	7,829	180	△ 7.4	8,028	△10.0	0.0	99.7	781
7期末（2015年9月17日）	6,811	180	△10.7	6,879	△14.3	0.0	98.2	705
8期末（2015年10月19日）	6,712	180	1.2	6,613	△ 3.9	0.0	99.5	651
9期末（2015年11月17日）	6,800	180	4.0	7,137	7.9	0.0	97.8	679
10期末（2015年12月17日）	6,450	120	△ 3.4	6,946	△ 2.7	0.0	99.9	662
11期末（2016年1月18日）	6,118	120	△ 3.3	6,448	△ 7.2	0.0	99.5	632

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（円換算）は、ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注５）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第６期首：8,652円
第11期末：6,118円（既払分配金960円）
騰　落　率：△18.7％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は下落しました。一方、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。

	年　月　日	基準価額	騰落率	JPモルガン GBI－EM ブロード・ブラジル（円換算）（参考指数）	騰落率	公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		円	%		%	%	%
第６期	（期首）2015年７月17日	8,652	－	8,924	－	0.0	98.1
	７月末	8,224	△ 4.9	8,340	△ 6.5	0.0	99.8
	（期末）2015年８月17日	8,009	△ 7.4	8,028	△10.0	0.0	99.7
第７期	（期首）2015年８月17日	7,829	－	8,028	－	0.0	99.7
	８月末	7,513	△ 4.0	7,590	△ 5.5	0.0	99.3
	（期末）2015年９月17日	6,991	△10.7	6,879	△14.3	0.0	98.2
第８期	（期首）2015年９月17日	6,811	－	6,879	－	0.0	98.2
	９月末	6,414	△ 5.8	6,328	△ 8.0	0.0	99.0
	（期末）2015年10月19日	6,892	1.2	6,613	△ 3.9	0.0	99.5
第９期	（期首）2015年10月19日	6,712	－	6,613	－	0.0	99.5
	10月末	6,820	1.6	6,854	3.6	0.0	99.4
	（期末）2015年11月17日	6,980	4.0	7,137	7.9	0.0	97.8
第10期	（期首）2015年11月17日	6,800	－	7,137	－	0.0	97.8
	11月末	6,879	1.2	7,043	△ 1.3	0.0	98.5
	（期末）2015年12月17日	6,570	△ 3.4	6,946	△ 2.7	0.0	99.9
第11期	（期首）2015年12月17日	6,450	－	6,946	－	0.0	99.9
	12月末	6,561	1.7	6,882	△ 0.9	0.0	99.2
	（期末）2016年１月18日	6,238	△ 3.3	6,448	△ 7.2	0.0	99.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。当作成期間の前半は、金融政策委員会（Copom）において、電力料金や燃料価格の値上げおよびブラジル・レアル安などによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に政策金利の引き上げが実施されました。この利上げに加え、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題も、金利上昇要因となりました。2015年８月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したこと、緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任したことにより財政懸念が高まり、金利は上昇しました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引き下げたことも、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及したことなどにより、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引き下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国の経済低迷などが、レアルの下落圧力となりました。2015年の初めは政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、８月に、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大しレアルを下支えしました。12月以降は、ＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）により政策金利が引き上げられたほか、中国への景気鈍化懸念の高まりや原油をはじめとした資源価格安により、資源国・新興国通貨であるレアルは下落しました。

○為替ボラティリティ相場

当期間中は、基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことなどによる財政懸念や、ブラジル経済および主要貿易相手国である中国の経済への懸念の高まりなどインプライド・ボラティリティ（※）が上昇する局面が見られました。当期間を通じて、米ドル高新興国通貨安が進行する中、レアルのインプライド・ボラティリティは、不安定な推移となりました。

※オプションプレミアムが織り込んでいる通貨の対円為替レートの予想変動率で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

　クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ−ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

　ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引き続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。通貨カバードコール戦略は、カバー率を100％程度とすることで、高い水準のオプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

　資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

　当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

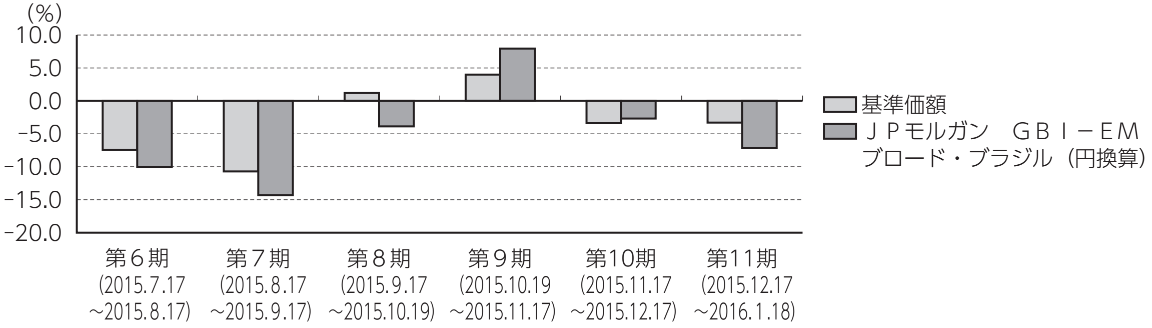
・債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。
・通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

　資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

１万口当り分配金（税込み）は、第６期～第９期はそれぞれ180円、第10期～第11期はそれぞれ120円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第６期 2015年7月18日 ～2015年8月17日	第７期 2015年8月18日 ～2015年9月17日	第８期 2015年9月18日 ～2015年10月19日	第９期 2015年10月20日 ～2015年11月17日	第10期 2015年11月18日 ～2015年12月17日	第11期 2015年12月18日 ～2016年1月18日
当期分配金（税込み）	(円)	180	180	180	180	120	120
対基準価額比率	(%)	2.25	2.57	2.61	2.58	1.83	1.92
当期の収益	(円)	180	180	180	180	120	120
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	528	627	736	878	1,040	1,283

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項　　　　　　　目	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	283.83円	276.05円	284.19円	316.83円	269.06円	361.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	224.20	244.62	260.52	279.20	330.76	340.67
(d) 分配準備積立金	200.83	286.75	371.60	462.04	560.52	701.11
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	708.87	807.43	916.32	1,058.09	1,160.35	1,403.52
(f) 分配金	180.00	180.00	180.00	180.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	528.87	627.43	736.32	878.09	1,040.35	1,283.52

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

　当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

　主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

　流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

１万口当りの費用の明細

項　　目	第６期～第11期 (2015.7.18～2016.1.18) 金　額	比　率	項　目　の　概　要
信託報酬	43円	0.613%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は7,025円です。**
（投信会社）	(15)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.041	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(3)	(0.041)	
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	46	0.657	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

決算期	第６期～第11期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	千口 5,059.434	千円 307,117	千口 2,445.463	千円 143,983

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

第６期～第11期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	1,818.598	120,000	65	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	2,445.463	143,983	58

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況
(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第６期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

決算期	第６期～第11期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
公社債	百万円 14,938	百万円 1,500	% 10.0	百万円 −	百万円 −	% −
コール・ローン	515,978	−	−	−	−	−

（注）平均保有割合0.0％
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第６期～第11期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第11期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券	千口	千円	%
（ケイマン諸島）			
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	12,778.581	629,766	99.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第５期末	第11期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	50

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年１月18日現在

項目	第11期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	629,766	97.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	16,191	2.5
投資信託財産総額	646,008	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年８月17日)、(2015年９月17日)、(2015年10月19日)、(2015年11月17日)、(2015年12月17日)、(2016年１月18日)現在

項目	第６期末	第７期末	第８期末	第９期末	第10期末	第11期末
(Ａ) 資産	**799,810,970円**	**724,893,423円**	**669,444,256円**	**698,063,725円**	**692,569,924円**	**646,008,407円**
コール・ローン等	20,767,499	32,603,143	21,338,739	33,366,939	17,974,392	16,191,556
投資信託受益証券(評価額)	778,993,466	692,240,275	648,055,512	664,646,781	661,371,922	629,766,841
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,005	50,005	50,005	50,005	50,010	50,010
未収入金	－	－	－	－	13,173,600	－
(Ｂ) 負債	**18,792,860**	**19,629,972**	**18,194,644**	**18,654,318**	**30,428,523**	**13,144,115**
未払金	－	－	－	－	6,586,800	－
未払収益分配金	17,955,589	18,637,834	17,465,549	17,985,339	12,319,437	12,413,887
未払解約金	924	204,102	－	－	10,801,802	－
未払信託報酬	830,820	777,342	713,663	649,236	696,116	701,199
その他未払費用	5,527	10,694	15,432	19,743	24,368	29,029
(Ｃ) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**781,018,110**	**705,263,451**	**651,249,612**	**679,409,407**	**662,141,401**	**632,864,292**
元本	997,532,744	1,035,435,239	970,308,309	999,185,534	1,026,619,751	1,034,490,595
次期繰越損益金	△216,514,634	△330,171,788	△319,058,697	△319,776,127	△364,478,350	△401,626,303
(Ｄ) 受益権総口数	**997,532,744口**	**1,035,435,239口**	**970,308,309口**	**999,185,534口**	**1,026,619,751口**	**1,034,490,595口**
1万口当り基準価額(Ｃ／Ｄ)	**7,829円**	**6,811円**	**6,712円**	**6,800円**	**6,450円**	**6,118円**

＊第５期末における元本額は959,534,937円、当作成期間（第６期～第11期）中における追加設定元本額は239,593,738円、同解約元本額は164,638,080円です。
＊第11期末の計算口数当りの純資産額は6,118円です。
＊第11期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は401,626,303円です。

■損益の状況

第６期　自2015年７月18日　至2015年８月17日　　第９期　自2015年10月20日　至2015年11月17日
第７期　自2015年８月18日　至2015年９月17日　　第10期　自2015年11月18日　至2015年12月17日
第８期　自2015年９月18日　至2015年10月19日　　第11期　自2015年12月18日　至2016年１月18日

項　　　　　目	第　6　期	第　7　期	第　8　期	第　9　期	第　10　期	第　11　期
(A) 配当等収益	**29,150,186円**	**29,366,621円**	**28,293,637円**	**32,311,728円**	**28,323,575円**	**38,127,571円**
受取配当金	29,149,816	29,366,148	28,292,768	32,311,445	28,322,738	38,127,296
受取利息	370	473	869	283	837	275
(B) 有価証券売買損益	**△ 91,441,429**	**△114,284,370**	**△ 19,981,753**	**△ 5,285,120**	**△ 51,628,187**	**△ 59,304,049**
売買益	26,680	2,166,454	1,823,171	1	1,135,068	44,190
売買損	△ 91,468,109	△116,450,824	△ 21,804,924	△ 5,285,121	△ 52,763,255	△ 59,348,239
(C) 信託報酬等	**△ 836,347**	**△ 782,509**	**△ 718,401**	**△ 653,547**	**△ 700,741**	**△ 705,860**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△ 63,127,590**	**△ 85,700,258**	**7,593,483**	**26,373,061**	**△ 24,005,353**	**△ 21,882,338**
(E) 前期繰越損益金	**△ 34,594,540**	**△113,012,643**	**△197,715,436**	**△207,587,502**	**△191,561,594**	**△226,888,050**
(F) 追加信託差損益金	**△100,836,915**	**△112,821,053**	**△111,471,195**	**△120,576,347**	**△136,591,966**	**△140,442,028**
(配当等相当額)	(　22,365,253)	(　25,328,970)	(　25,279,441)	(　27,898,168)	(　33,956,743)	(　35,242,721)
(売買損益相当額)	(△123,202,168)	(△138,150,023)	(△136,750,636)	(△148,474,515)	(△170,548,709)	(△175,684,749)
(G) 合計(D+E+F)	**△198,559,045**	**△311,533,954**	**△301,593,148**	**△301,790,788**	**△352,158,913**	**△389,212,416**
(H) 収益分配金	**△ 17,955,589**	**△ 18,637,834**	**△ 17,465,549**	**△ 17,985,339**	**△ 12,319,437**	**△ 12,413,887**
次期繰越損益金(G+H)	**△216,514,634**	**△330,171,788**	**△319,058,697**	**△319,776,127**	**△364,478,350**	**△401,626,303**
追加信託差損益金	△100,836,915	△112,821,053	△111,471,195	△120,576,347	△136,591,966	△140,442,028
(配当等相当額)	(　22,365,253)	(　25,328,970)	(　25,279,441)	(　27,898,168)	(　33,956,743)	(　35,242,721)
(売買損益相当額)	(△123,202,168)	(△138,150,023)	(△136,750,636)	(△148,474,515)	(△170,548,709)	(△175,684,749)
分配準備積立金	30,391,838	39,637,922	46,166,750	59,839,593	72,848,480	97,537,167
繰越損益金	△146,069,557	△256,988,657	△253,754,252	△259,039,373	△300,734,864	△358,721,442

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は後掲の「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　　　　目	第　6　期	第　7　期	第　8　期	第　9　期	第　10　期	第　11　期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,313,839円	28,584,112円	27,575,236円	31,658,182円	27,622,835円	37,421,711円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	22,365,253	25,328,970	25,279,441	27,898,168	33,956,743	35,242,721
(d) 分配準備積立金	20,033,588	29,691,644	36,057,063	46,166,750	57,545,082	72,529,343
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	70,712,680	83,604,726	88,911,740	105,723,100	119,124,660	145,193,775
(f) 分配金	17,955,589	18,637,834	17,465,549	17,985,339	12,319,437	12,413,887
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	52,757,091	64,966,892	71,446,191	87,737,761	106,805,223	132,779,888
(h) 受益権総口数	997,532,744口	1,035,435,239口	970,308,309口	999,185,534口	1,026,619,751口	1,034,490,595口

収益分配金のお知らせ						
	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期
1万口当り分配金	180円	180円	180円	180円	120円	120円
(単　価)	(7,829円)	(6,811円)	(6,712円)	(6,800円)	(6,450円)	(6,118円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記(　)内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス／α100クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年１月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2015年５月31日

	ドル
資産	
損益通算公正価値金融資産	8,211,937
現金および現金同等物	170,989
未収：	
売却投資証券	25,815
利息	10,919
総資産	8,419,660
負債	
損益通算公正価値金融負債	41,886
未払：	
購入投資証券	108,834
管理会社報酬	15,606
保管報酬	5,936
報酬代理店報酬	3,437
受託会社報酬	3,425
名義書き換え代理報酬	1,937
副投資運用会社報酬	1,423
負債（買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産を除く）	182,484
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	ドル 8,237,176

包括利益計算書
2015年５月31日に終了した年度

	ドル
収益	
利息	161,966
損益通算公正価値金融資産および負債による純実現損失	(107,958)
外貨取引による純実現損失	(6,095)
損益通算公正価値金融資産および負債による評価損の純変動	(549,422)
外国為替換算による評価損の純変動	(384)
損失合計	**(501,893)**
費用	
管理会社報酬	15,606
保管報酬	5,936
副投資運用会社報酬	4,680
報酬代理店報酬	4,009
受託会社報酬	3,425
名義書き換え代理報酬	1,937
費用合計	**35,593**
金融費用控除前営業損失	**(537,486)**
金融費用	
買戻償還可能受益証券保有者に対する分配金	(504,060)
分配金控除後税引前損失	**(1,041,546)**
源泉徴収税	(3,100)
業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産の減少額	**ドル (1,044,646)**

投資明細
2015年５月29日

	ドル
ブラジル	
NOTA DO TESOU 6% 05/15/45/BRL/	253,223.17
NOTA DO TESOURO 6% 5/15/17/BRL	205,852.99
NOTA DO TESOU 6% 08/15/50/BRL/	301,437.09
LETRA TESOUR ZCP 01/01/16/BRL/	2,783,600.08
NOTA DO TESOU 6% 08/15/16/BRL/	2,161,998.62
LETRA TESOUR ZCP 07/01/16/BRL/	1,361,706.76
LETRA TESOUR ZCP 07/01/15/BRL/	92,928.40
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	924,447.79
NOTA DO TESOU 6% 05/15/55/BRL/	126,741.87
	8,211,936.77

仕組みスワップ契約

α100クラス - 2015年５月31日時点の仕組スワップ契約の残高：（純資産の（0.4）%）

変動金利 支払/受取	変動金利の指標	固定金利	権利行使日	カウンターパーティ	名目元本		評価損	
支払	FX Option Overlay	0.00%	2025年12月５日	Credit Suisse International	ドル	5,920,483	ドル	(34,549)

α50クラス - 2015年５月31日時点の仕組スワップ契約の残高：（純資産の（0.1）%）

変動金利 支払/受取	変動金利の指標	固定金利	権利行使日	カウンターパーティ	名目元本		評価損	
支払	FX Option Overlay	0.00%	2025年12月５日	Credit Suisse International	ドル	2,514,678	ドル	(7,337)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2015年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第11期の決算日（2016年１月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2015年７月18日から2016年１月18日まで）

買付 銘柄	買付 金額	売付 銘柄	売付 金額
	千円		千円
540 国庫短期証券　2015/9/24	1,699,999		
555 国庫短期証券　2015/12/7	1,500,000		
557 国庫短期証券　2015/12/14	1,500,000		
563 国庫短期証券　2016/1/18	1,150,000		
100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,103,212		
548 国庫短期証券　2015/11/2	1,000,000		
554 国庫短期証券　2015/11/30	1,000,000		
566 国庫短期証券　2016/2/1	999,999		
567 国庫短期証券　2016/2/8	999,999		
550 国庫短期証券　2015/11/9	900,000		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年１月18日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（11,342,903千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年１月18日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入	残存期間別組入比率 5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	6,000,000	6,002,670	52.8	－	－	－	52.8

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年１月18日現在

区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	566 国庫短期証券	－	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	－	1,000,000	999,999	2016/02/08
	570 国庫短期証券	－	500,000	500,000	2016/02/22
	573 国庫短期証券	－	500,000	500,053	2016/03/07
	574 国庫短期証券	－	700,000	700,042	2016/03/14
	576 国庫短期証券	－	700,000	700,043	2016/03/22
	582 国庫短期証券	－	500,000	500,034	2016/04/18
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,497	2016/09/20
合計 銘柄数	8銘柄				
合計 金額			6,000,000	6,002,670	

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書　第４期（決算日　2015年12月９日）

（計算期間　2014年12月10日～2015年12月９日）

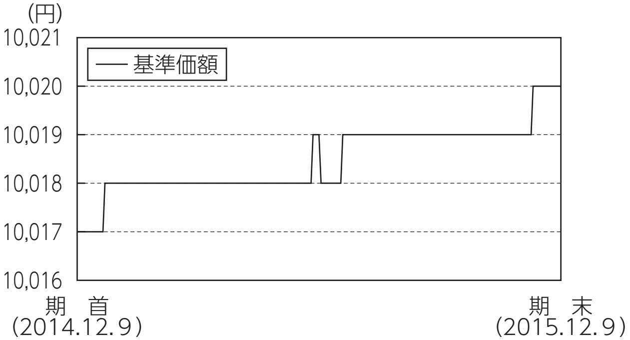
ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第４期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年　月　日	基　準　価　額		公 社 債 組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2014年12月９日	10,017	－	53.3
12月末	10,018	0.0	72.3
2015年１月末	10,018	0.0	80.5
２月末	10,018	0.0	70.3
３月末	10,018	0.0	59.6
４月末	10,018	0.0	70.6
５月末	10,018	0.0	73.2
６月末	10,019	0.0	69.3
７月末	10,019	0.0	59.4
８月末	10,019	0.0	65.5
９月末	10,019	0.0	51.5
10月末	10,019	0.0	76.0
11月末	10,020	0.0	56.8
(期末)2015年12月９日	10,020	0.0	52.7

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注３) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円　期末：10,020円　騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■１万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合　計	－

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月９日まで)

		買　付　額	売　付　額
		千円	千円
国内	国債証券	32,338,160	－ (32,240,000)

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注３) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月９日まで)

当期 買付 銘柄	金額	当期 売付 銘柄	金額
	千円		千円
491 国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998		
540 国庫短期証券 2015/9/24	1,699,999		
555 国庫短期証券 2015/12/7	1,500,000		
557 国庫短期証券 2015/12/14	1,500,000		
541 国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998		
532 国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995		
514 国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968		
521 国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925		
502 国庫短期証券 2015/3/30	1,199,993		
563 国庫短期証券 2016/1/18	1,150,000		

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当		期		末		
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	6,435,000	6,437,978	52.7	−	−	−	52.7

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当	期				末
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	557 国庫短期証券	−	1,500,000	1,500,000	2015/12/14
	336 2年国債	0.1000	185,000	185,022	2016/01/15
	563 国庫短期証券	−	1,150,000	1,150,000	2016/01/18
	566 国庫短期証券	−	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	−	1,000,000	999,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	−	500,000	500,097	2016/03/07
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,860	2016/09/20
合計 銘柄数	7銘柄				
合計 金額			6,435,000	6,437,978	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月９日現在

項目	当期末 評価額	比率
	千円	%
公社債	6,437,978	52.7
コール・ローン等、その他	5,772,311	47.3
投資信託財産総額	12,210,290	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**12,210,290,310円**
コール・ローン等	5,771,514,330
公社債(評価額)	6,437,978,324
未収利息	668,726
前払費用	128,930
(B) 負債	−
(C) 純資産総額(A−B)	**12,210,290,310**
元本	12,186,116,869
次期繰越損益金	24,173,441
(D) 受益権総口数	**12,186,116,869口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,020円**

＊期首における元本額は11,884,993,463円、当期中における追加設定元本額は8,064,725,261円、同解約元本額は7,763,601,855円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りＣＢファンドⅡ　為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りＣＢファンドⅡ　為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年２回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年２回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（年１回決算型）4,995円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（年１回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014−04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014−07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014−10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015−01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）−スーパー・ハイインカム−　α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）−スーパー・ハイインカム−　α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ26,536,157円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド−シフト11　Ver３−2,395,687,762円、ダイワ日本株式ベア・ファンド−ベアシフト11−71,870,634円、ダイワ日本株式ベア・ファンド−ベアシフト11　Ver２−29,945,799円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド−シフト11　Ver５−2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース10,980,236円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,696,946円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース7,487,022円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,593,631円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス　−インカムチェンジ（積立型）−7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）−シフト11−3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）−シフト12−2,626,169,333円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）−シフト13−1,287,713,056円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

当期　自2014年12月10日　至2015年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**3,173,485円**
受取利息	3,173,485
(B) 有価証券売買損益	**△　382,400**
売買益	1,050
売買損	△　383,450
(C) 当期損益金(A＋B)	**2,791,085**
(D) 前期繰越損益金	**20,640,762**
(E) 解約差損益金	**△14,198,145**
(F) 追加信託差損益金	**14,939,739**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**24,173,441**
次期繰越損益金(G)	**24,173,441**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。